

令和7年度外部評価対象研究課題一覧

分野	評価区分	番号	研究課題名	概要
農業	事後評価	農後-1	ドローンセンシングによる水稲生育診断データの解析と効率的な施肥体系技術の確立	ドローンセンシングによって取得した水稲の生育・画像データと、圃場の作付履歴や実測した生育データとの関連について比較解析する。その結果に基づいて、適正な生育量を得るための追肥量を決定して可変施肥作業につなげる。また、「センシング→診断解析→可変施肥」にタイムラグが生じないリアルタイム可変施肥体系に取り組み、現地における収量性の向上と経営改善を実証する。
		農後-2	温室内の高温条件下で栽培された酒米の外観品質および酒造適性の解析	これまで本県が主食用うるち米の高温登熟耐性品種の育成用に開発した人為的な高温条件を与えることができる「ガラス温室を用いた高精度な水稲高温登熟耐性検定手法」を用いて、複数(本県産地品種銘柄21品種等)の酒米品種を高温条件下で栽培することで、酒米の外観品質の変化および消化性(RVA 簡易評価法)、胴割粒発生率を調査し、酒米の高温登熟障害の詳細を解析する。
	追跡評価	農追-1	「山田錦」のブランド力を強化する品質向上栽培技術の開発	立毛中における胴割米の発生抑制と米粒の充実不足の改善を図る栽培管理技術を開発するために、①胴割米の発生予測技術の確立、②葉色値や画像を活用した施肥体系別生育診断技術の確立と技術体系化、③ケイ酸や微量要素が品質に及ぼす影響評価と施用技術の確立を目指す。
畜産	中間評価	畜中-1	兵庫県における「スリック・タイプ ホルスタイン牛」の生産性の検証	本県の環境下でのスリック牛の暑熱耐性能力の発現度合を、体温、飼料摂取量、育成期の発育および産乳期の生産性の調査により検証する。
水産	事後評価	水後-1	クロダイによるノリの食害軽減技術開発	効果的な食害軽減技術(忌避、漁獲等)を開発するために、食害の実態把握及び、ノリ養殖漁場周辺における食害原因種(クロダイ)の行動生態を解明し、生態学的知見を得る。また、食害軽減技術を開発・実装し、現場への技術導入を行う。